

データ・デジタル技術を活用した防犯対策を推進します

防犯を取り巻く現状として、本市の犯罪率は20指定都市の中で低い水準にあるものの、刑法犯認知件数は令和4年以降増加し、犯罪手口も多様化・巧妙化しています。

また、防犯意識アンケートでは、「夜間の道路」への不安が多く、防犯灯・防犯カメラ設置等の環境整備や子ども・高齢者の見守り強化を求める声が上がっています。一方で、少子高齢化や地域のつながりの希薄化により、担い手の確保が課題となっています。

このため、データやデジタル技術を活用した効果的・効率的な対策を推進し、市民が安心・安全を実感できるまちの実現を目指します。

1 GIS*マップを活用した「暗がり」の解消

市が設置している防犯灯の位置情報をもとに、住宅地における、周囲25m以内に灯り（防犯灯）がない場所（電柱）を、「暗がり」の可能性のある場所としてマップに可視化し、防犯灯の設置候補情報として活用します。令和11年度までに「暗がり」の全解消を目指します。



※GIS（地理情報システム）…地図上に位置情報を持つデータを重ね合わせ、コンピュータで管理・分析・可視化する技術

2 スマート防犯モデル事業

モデル地域に、無線通信機能が付いた防犯灯（500灯/地区）と、小学生等が携帯する見守りタグ（300個/地区）を連携させ、保護者のスマートフォンで現在位置や移動経路が確認できるようにします。防犯灯には照度自動調整機能も付け、安全と省エネを両立します。さらに、小学校周辺の防犯灯には、防犯カメラ機能も追加（5台/地区）します。



モデル地域には、防犯灯設置状況や地域特性の違い等を踏まえ、南区及び青葉区内から選定し（計2地区）、効果検証を行っていきます。

お問合せ先		
地域防犯支援課長	佐藤	Tel 045-671-2601



GREEN × EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

